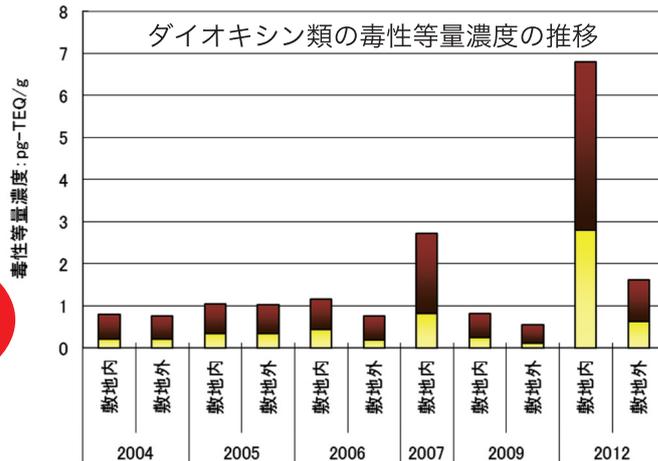


## 彩の国資源循環工場の大気汚染に関して 埼玉県・寄居町へ要望（請願）提出の告知のお願い

日ごろより多様な地域の情報を発信していただきありがとうございます。  
このたび、以下の要望（請願）を埼玉県と寄居町に提出しましたので、市民の健康・生命に関わる案件ですので、市民のみなさんへひろく告知していただきますようお願い致します。

2月3日に寄居町で開催した「松葉による大気調査結果報告会」で、埼玉県が全面関与している大型複合産業廃棄物中間処理施設「彩の国資源循環工場」からの大気汚染が酷くなったとして、このたび、市民による「松葉による大気調査実行委員会」と「生活クラブ生協熊谷ブロック」が共同で、埼玉県と寄居町に要望書（行政請願）を提出しました。



ダイオキシン類の中で、PCDDよりPCDFが多いと、焼却由来といわれています。

全国と同様  
焼却炉周辺大気  
の約40倍

日本の環境基準  
0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>の2倍  
のダイオキシン類

ダイオキシン類が  
過去9年間で最大量

大気中の水銀は  
3年連続  
全国ワースト1位

松葉調査とは  
クロマツ（アカマツ）の  
葉を専門機関で分析すること  
で大気中のダイオキシンや  
重金属類を測定する  
環境調査です。

●2004-2005年度は敷地内と敷地外の差はあまりみられなかったが、  
2006年度には敷地内が高くなり、2007年度には大幅に上昇した。  
2009年度には再び濃度は低下したが12年度は著しく上昇した。  
出典：2013年2月3日開催 松葉ダイオキシン調査結果報告会  
池田こみち（（株）環境総合研究所 顧問）講演資料より

### 要望（請願）の内容

1. 寄居町が行ったように埼玉県も松葉による大気測定を行ってください。
2. 今回の調査結果を受け、彩の国資源循環工場からの大気汚染を抑えるよう、焼却施設であるオリックス資源循環・エコ計画・埼玉ヤマゼンにはたらきかけてください。
3. 彩の国資源循環工場からの有害物質排出量の年間の総量を教えてください。
4. 大気調査について、周辺での年数回の測定だけでなく、彩の国資源循環工場の焼却施設排出源でダイオキシン類や水銀などを連続測定し、正確な管理としてください。

### 要望（請願）の理由

測定結果は、松葉中のダイオキシン類が、過去9年間で最大量で、毒性等量濃度が敷地内:3.4pg-TEQ/g（クロマツに換算すると6.8pg-TEQ/g）、敷地外:0.28pg-TEQ/g（クロマツに換算すると1.6pg-TEQ/g）という値が出ました。

これを大気中濃度に換算すると、敷地内:1.2pg-TEQ/m<sup>3</sup>、敷地外:0.28pg-TEQ/m<sup>3</sup>という値で、寄居町三ヶ山の敷地内の大気中には、高濃度のダイオキシン類があることがわかりました。これは日本の環境基準0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>の2倍にあたり、全国と同様焼却炉周辺大気の平均と比較すると、約40倍になります。

また、敷地内の大気中の重金属類も高濃度で、中でも水銀は2009年(0.09μg/g)の約1.3倍の0.12μg/gとなっており、2009年から連続で全国ワースト1位です。

埼玉県による測定でも全国平均に比べ、寄居町三ヶ山周辺の大気中の水銀濃度が高くなっています。

他に大気中に有害なカドミウムやクロムなども敷地内の大気中に多く含まれています。

これらの値は、彩の国資源循環工場からの大気汚染が近年酷くなっていることを如実に示しています。

これら大気中の有害物質は、呼吸によって体内に蓄積され、健康・生命に影響を与えます。

わたしたちは近隣住民として、生活圏に資源循環工場をかかえる住民として、近隣に生産者をかかえる生活クラブ組合員として、大気汚染による様々な影響を非常に心配しております。